



財政状況の今後10年間の見通し

人口減少や少子高齢化の進行により、市の財政は厳しい状況が見込まれます。健全で持続可能な財政運営を行い、市民と市が財政状況を共有することを目的に10年間の財政見通しを作成しました。

税収減と社会保障費の増加

本市の人口は、令和2(2020)年から令和22(2040)年までの間に約12.5%減少すると見込まれています。人口減少や少子高齢化が進行すると経済が縮小し、税収の減少が想定される一方で、社会保障関連費の増加が見込まれます。

今後の課題

新ごみ処理施設の建設に約463億円の事業費を見込んでいます。また、市立病院の経営健全化と老朽化の対応に加え将来のあり方の検討も必要で、今年度中に新病院の建設候補地に関する調査を行います。市が出資している土地開発公社は、令和4年度末時点の簿価で約22.3億円の長期保有土地を抱えており経営を圧迫しています。

現状のままでは10年間の収支不足額は56.8億円

こうした現状をベースに今後10年間の財政をシミュレーションした結果が右のグラフです。令和14(2032)年度の収支累計は、約56.8億円のマイナスを見込んでおり、これまでの行財政経営の延長では、市民サービスの提供が困難になると予想されます。

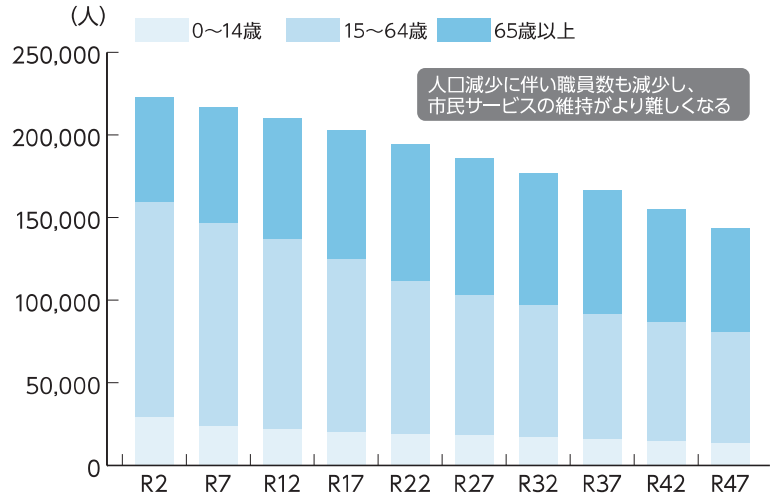
行財政経営基盤の強化に向けた取り組み

このような状況を打開するため、行財政経営方針のもと、令和3(2021)年度から令和5(2023)年度の3年で、行財政経営基盤の強化に取り組んでいます。下記の推進項目を達成することにより、持続可能な財政運営を目指します。

行財政経営行動計画の推進項目(財政基盤)

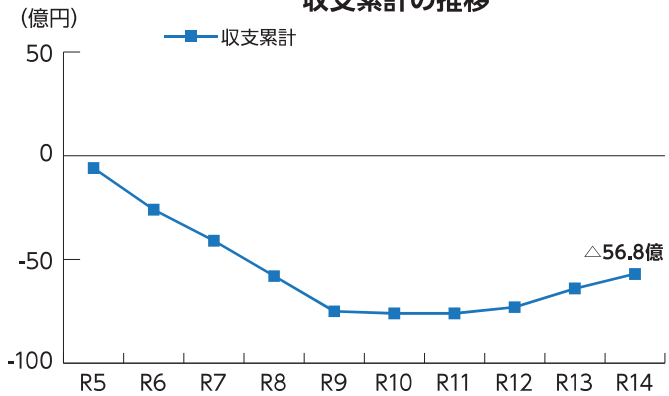
- ① 規律に基づく財政運営*
- ② 市税をはじめとする債権の適正な管理
- ③ 使用料や手数料など受益者負担の適正化
- ④ 新たな歳入の確保
- ⑤ 特別会計・地方公営企業・外郭団体などの健全化
- ⑥ 裁量経費(上乗せ横出し事業、市単独事業)の見直し
- ⑦ 裁量経費以外の事業の見直し

宝塚市の年齢別人口



出典：国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口」(2018年推計)

収支累計の推移



※規律に基づく財政運営って?

健全で持続可能な財政運営の実現を目指し策定された財政規律に沿って、財政運営を行うことです。この規律では、地方債の発行や基金に関する方針を示すとともに、市税収納率や職員数などの数値目標を定めています。



問 財政課 (☎ 77・2022 FAX 72・1419)

新型コロナワクチン 春開始接種(5~8月)を実施

初回接種を完了した高齢者(65歳以上)や、基礎疾患のある人などを対象としたオミクロン株対応2価ワクチンの追加接種を実施します。

- 開始時期** 5月8日(月)から
実施場所 集団接種会場、個別接種医療機関(原則65歳以上の人のみ)
接種券 ①65歳以上の人
 昨年12月までに接種した人にはすでに送付済み。今年1月以降に接種した人には順次送付。
 ②64歳以下の人
 基礎疾患があるなど、重症化リスクの高い人や医療・施設従事者で接種券が手元にない人は、発行申請が必要。
予約方法 予約サイトまたは市コールセンター(65歳以上の方は、接種日時と場所を市が指定するため予約不要)



問 市コールセンター(☎0797・61・5610)

5月8日(月)から 新型コロナは5類感染症に移行

医療提供体制が次のように見直されます。

項目	移行前	移行後(5月8日~)
受診可能な医療機関	発熱外来など特定の医療機関	幅広い医療機関に拡大(県HPで公表)
検査費	公費負担	自己負担あり
外来医療費	公費負担	自己負担あり(コロナ治療薬は、9月末まで無料)
入院医療費	公費負担	自己負担あり(9月末まで最大月2万円まで減額)

県の陽性者登録支援センター、有症者への抗原検査キット配布事業は5月7日(日)をもって廃止されます。

新型コロナ検査・医療
について詳しくはこちら ▶



問 健康推進課(☎86・0056 FAX83・2421)

低所得の子育て世帯に 給付金を支給

支給額 子ども1人あたり5万円
 ※以下の対象者のうち、どちらかで1回

- 対** **ひとり親世帯**
 ①令和5年3月分の児童扶養手当を受給した世帯
 ②児童扶養手当受給者と同等の水準まで収入が減少した世帯など

- ひとり親世帯以外**
 ③令和4年度低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外分)を受給した世帯
 ④非課税世帯と同等の水準まで収入が減少した世帯

- 申** ①③は申し込み不要
 ②④は、7月以降に市HPから申請書をダウンロードし、子育て支援課へ郵送

内容が変更になる可能性がありますので、最新の情報は以下よりご確認ください。



①②ひとり親世帯はこちら



③④ひとり親世帯以外はこちら

問 子育て支援課(☎77・2196 FAX74・9948)

あなたの職場を地域の憩いの場に クールシェアスポット参加事業者を募集

地域の人がふらっと立ち寄って、涼しい場所で何気ないおしゃべりを楽しむ。そんな地域住民の憩いの場として会社や店舗を開放する事業者を募集します。参加事業者にはステッカーを配布し、市社会福祉協議会 HP に掲載します。

開放時期 6月~9月
 ※スポットの提供(場所・期間・時間)は自由です。業務に差し支えない範囲でご協力ください。

- 応募条件**
- ・涼しく快適に過ごすことができるスペースがある
 - ・特定の年齢などに限らず誰でも利用できる
 - ・公序良俗に反しない場所である



応募はこちら

問 市社会福祉協議会(☎86・5003 FAX86・5069)



すみれ商品券でお得にお買い物!

1万円で1万2千円分の買い物・飲食ができる、プレミアム付き商品券(すみれ商品券)の予約を受け付けます。本商品券は参加店として登録された店舗で利用できます。



予約方法 応募はがき(市内商店街や参加店舗などに設置)または郵便はがきに〒住所、氏名(フリガナ)、電話番号、希望冊数(5冊まで)を記載し、〒665-8799宝塚郵便局留 宝塚市商店連合会事業本部へ。5月10日(水)必着。

※はがきは1人1通、1世帯3通まで(予約多数の場合は抽選)

※当選者には通知はがきを5月20日(土)までに発送します。

販売方法 5月24日(水)~31日(水)に、当選通知に記載された日時・会場で販売します。

有効期間 6月1日(木)~7月31日(月)



問 宝塚市商店連合会(☎85・2255 平日10時~17時)

ダリア生産拡大推進事業補助金 申請者を募集



全国有数の球根生産量を誇る市内のダリア産業の担い手育成や、ダリアを活用した特産品開発を行う事業者に補助します。



詳細はこちら

	ダリアサポーター育成支援	特産品開発支援
内容	ダリア産業の後継者やサポート希望者への技術指導などに係る経費の1/2(上限40万円)	ダリアを活用した新たな特産品の開発に係る経費の1/2(上限20万円)
募集者数	1者	3者
補助対象	市内に住所のある個人または市内に所在地のある団体、事業者	
申し込み	5月8日(月)~31日(水)に、申請書(市HPからダウンロード可)と関係書類を北部振興企画課へ。	

問 北部振興企画課(☎91・1111 FAX91・0851)

高齢者の総合相談窓口 地域包括支援センター

地域包括支援センターでは、保健師や看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどが、悩み相談や介護サービスの紹介など、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するための支援を行っています。



○地域包括支援センター一覧

名称(所在地)	連絡先	担当地域(小学校区)※一部地域を除く
小林(光明町)	☎74・3863 FAX 74・3922	良元、仁川、未成、光明、高司、末広の一部
逆瀬川(中州1丁目)	☎76・2830 FAX 77・3461	宝塚第一、西山、逆瀬台、末広※
御殿山(御殿山2丁目)	☎83・1336 FAX 83・1337	宝塚、すみれが丘、売布※、美座の一部
小浜(小浜4丁目)	☎86・3707 FAX 83・1123	小浜、美座※、安倉、安倉北※
長尾(山本東2丁目)	☎80・2941 FAX 80・4110	長尾※、長尾南、丸橋、売布の一部、安倉北の一部
花屋敷(切畑字長尾山)	☎072・740・3555 FAX 072・740・5087	長尾台、中山台、山手台、長尾の一部
西谷(大原野字南穴虫)	☎83・5080 FAX 91・1300	西谷

問 高齢福祉課(☎77・0505 FAX71・1355)